

「親の学習」プログラム

5ー④

「我が子に限って」は危険ですードラッグー

薬物乱用は、遠い世界の出来事、我が子には関係ないと思っていませんか？実際には、すぐ近くで薬物乱用は起こっています。インターネットやスマートフォンの普及で、簡単に手に入る薬物、かわいい外見の錠剤なども出回り、抵抗感が薄くなっています。

薬物乱用の入り口である、喫煙・飲酒もふくめて、どうしたら子どもたちに薬物にかかわらない人生を歩ませることができるか、考えてみましょう。

ワーク
1

クイズに答えてみましょう。

(まず個人で考えてから、グループで意見交換をしてみましょう。)

問1 たばこ（電子タバコを含む）の煙には、有害な物質（ニコチン・タール・一酸化炭素等）がたくさん含まれています。ニコチンには、依存性があり、たばこをやめるのを難しくしていますが、ニコチンの量は、主流煙（喫煙者が吸う煙）を1とした時、副流煙（たばこの先から出る煙）には、どのくらい含まれているのでしょうか。

- 1 同じ 2 半分 3 2倍以上

答え

メモ

問2 中学生がお酒を飲むと健康に害があるでしょうか。

- 1 少し害があるがたいしたことはない。
2 中学生の飲酒は、体の成長などに影響をあたえとても害がある。
3 全く害がない。

答え

メモ

問3 未成年者は、法律でお酒を飲んではいけないと決まっていますが、次のうち罰せられるのは？

- 1 食事の時、中学生・高校生にビールを飲ませた親。
2 食堂で、高校生に注文されビールを出したお店の人。
3 未成年にお酒を売った店員。

答え

メモ

問4	乱用される薬物には覚せい剤・大麻・有機溶剤（シンナー）・コカイン・MDMA・マジックマッシュルームなどたくさんありますが、近年急速に増加しているのは？ 1 有機溶剤（シンナー） 2 MDMA 3 マジックマッシュルーム 4 エトミデート
答え	メモ
問5	未成年の喫煙・飲酒は、薬物乱用につながるといいますか？ 1 たばこもお酒も薬物乱用につながる。 2 たばこは薬物乱用につながるが、お酒はつながらない。 3 たばこもお酒も薬物乱用に関係ない。
答え	メモ
問6	市販の風邪薬を大量に飲んでも、健康には影響しない？ 1 認可された薬だから大量に飲んでも身体への悪影響はない。 2 風邪の症状があれば、それが早く治まる。健康なときに飲めばますます調子よくなる。 3 規定の量以上飲めば、感覚がおかしくなり、肝臓も壊れる恐れがある。時には気分がよくなり幻覚がおきたり頭がぼんやりしたりし、大量摂取の依存症になる。
答え	メモ

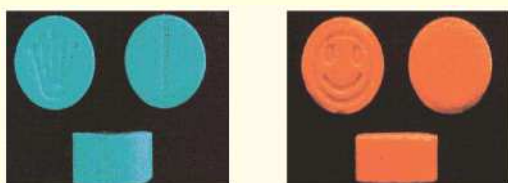
用語解説

1 有機溶剤（シンナー・トルエン・接着剤）

- ・精神依存を起こす。（身体依存も疑われている）
- ・毒物及び劇物取締り法により規制
- ・無動機症候群、幻覚、妄想などの慢性的精神障害

2 MDMA（幻覚剤）

- ・精神依存を起こす。
- ・麻薬及び向精神薬取締り法により規制
- ・幻覚作用を主に視覚のゆがみを主とし、時間、空間の変容時に聴覚のゆがみ



3 マジックマッシュルーム（幻覚剤）

- ・精神依存が疑われている。
- ・幻覚作用を主に知覚異常を誘発。法規制されている。

4 エトミデート

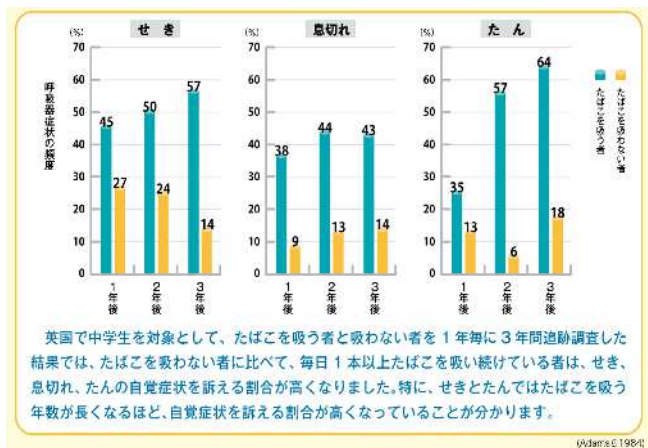
一部の国で鎮静剤や麻酔導入薬などの医療品として使われる成分だが、日本では承認されていない。電子タバコのリキッドに混ぜて使用されることが多く摂取すると手足の痙攣、意識の混乱や幻覚、呼吸困難などの症状がでる。歩行が乱れることなどから「ゾンビたばこ」とも呼ばれることもある。

5 OD（オーバードーズ）

医薬品はどんな薬であっても一回に使用する量が決められている。この決められた量を超えて過剰に薬を飲むことを「オーバードーズ」という。近年、10代～20代を中心に、病院で医者から処方される薬、あるいは、市販の風邪薬、咳止め薬、アレルギーの薬などを購入し、一度に大量に使用する事例が増えている。

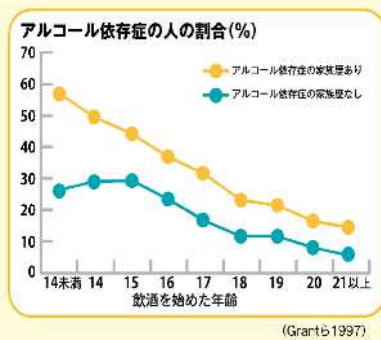
ワーク
2

クイズの答えと下のグラフをみて、家庭でできることや気になっていることなどを話し合ってみましょう。



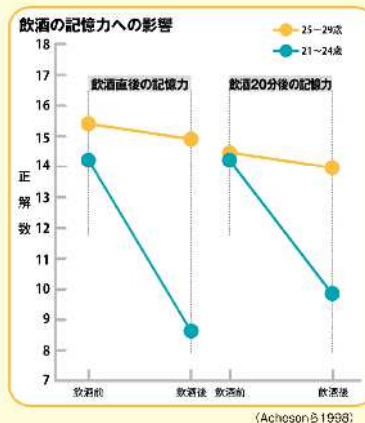
● 飲酒開始年齢とアルコール依存症

飲酒開始年齢が低いほど、アルコール依存症になる人の割合が高くなります。



● 飲酒と記憶力

飲酒をすると記憶力が落ちます。特に若い人では、飲酒をすると学習成績が極端に低下します。



未成年者の喫煙、飲酒はゲートウェイ

喫煙や飲酒経験のある中学生や高校生で薬物乱用経験のある生徒の割合は、喫煙や飲酒経験のない生徒で薬物乱用経験のある生徒の割合よりも高く、特に、喫煙経験のある生徒で顕著に高くなっています。日本の薬物依存患者を対象とした研究では、薬物乱用の第一段階は、喫煙や飲酒であり、その後、違法な薬物に移行していくことが示されており、喫煙や飲酒は違法薬物乱用のゲートウェイ（入り口）であり、たばこやアルコールは「ゲートウェイドラッグ」と呼ばれています。

喫煙経験別にみた薬物乱用経験の割合



飲酒経験別にみた薬物乱用経験の割合



メモ …我が家でできること…

グループの中で出た意見

**ワーク
3**

こんな時、子供にどのように話しますか。
ロールプレイをしてみましょう。

夕食後、お酒を飲んでいると、中学生の子どもが飲みたいと言って来ました。

「友だちもみんな飲んでるし、少しなら健康にいいでしょ。」

「ストレスがたまっているんだ。少し飲ませてよ。」

ふりかえり

何を学びましたか、何を感じましたか。

今後の生活にどの様に生かしますか？